

# コシヒカリ栽培暦（カルパーコーティング湛水直播・会津地域/両沼地方限定）

○栽培地帯：会津の平坦地域（標高300m以下）

福島県会津農林事務所会津坂下農業普及所 令和7年3月

	3月		4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月																		
	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬																		
生育	<p>播種期 出芽期 分けつ期 最高分けつ期 幼穂形成始期 減数分裂期 出穂期 成熟期</p> <p>作柄判定ほ(H26~R6)の平均→ 4/30頃 8/12頃 9/23頃</p>																																						
主な作業	<p>塩水選 浸種 催芽 土壌改良剤 基肥 施用 耕起 代かき 7日間止水管理 落水 播種 出芽後入水 播種+初期剤 浅水管理で分けつ促進 中干し 葉いもち防除 穂肥 7/25~8/1頃 (出穂10日~15日前) 穂いもち防除 穂肥 カメムシ防除 収穫 乾燥 調製 秋耕</p> <p>播種同時 初期剤 散布 コーティング 初期剤 除草剤 散布</p>																																						
栽培上の要点	<p><b>○土づくり</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>堆肥や土壌改良資材の施用を励行する。その他については土壌分析結果に基づき不足する養分を補給する。</li> <li>稲わらはすき込み、地力の維持・向上に努める。秋の早い時期のすき込みは土壌還元対策にも有効である。</li> </ul> <p><b>○種子予措・コーティング</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>購入種子も必ず塩水選(比重 1.13)を実施すること。(ただし、比重選別機による比重選別済みの消毒済み種子は不要)</li> <li>浸種は、積算温度で100℃とし、催芽は鳩胸程度とすること。</li> <li>カルパーのコーティング量は、乾もみ重の1.5倍程度とすること。</li> <li>殺菌剤や殺虫剤を同時処理する場合は、使用上の注意事項を良く確認すること。</li> <li>コーティング後は、できるだけ早く(4日以内)播種すること。</li> </ul> <p><b>○播種</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>播種量：乾もみ重3~4kg/10a</li> <li>播種は植代後2日後を目処に行い、雑草対策のため播種同時除草剤(初期剤)を散布する。</li> <li>播種後の低温は出芽不良や生育停滞につながるため、平均気温15℃以上になる時期を目安に播種を行うこと。(4月5半旬頃が播種開始目安)</li> <li>覆土を確実にするため、田面の硬さは移植よりもやや柔らかめに仕上げること。</li> </ul>						<p>・播種時の田面は、水がひたひたした状態(鏡状)とし、播種時に水が不足して薬剤が溶けていない場合は、差し水を行うことで薬剤を溶かすこと。</p> <p>・播種同時除草剤(成分:ピラクロニル)は、水たまりで薬害を生じるため、播種後落水し、水たまり状のところは溝切りで水を抜く。</p> <p><b>○播種後の管理</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>播種後10日間を目安に落水状態を保つこと。</li> <li>出芽7~8割を目安に入水すること。</li> <li>除草剤の種類によって使用時期が異なるため、葉齢を確認して遅れずに散布する。</li> </ul> <p><b>○水管理</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>入水後は浅水管理を基本とし、還元障害や表層剥離の影響が大きい場合は一時的に落水する。</li> <li>有効分けつ確保後~幼穂形成期に、中干しを実施し、無効分けつ抑制および地耐力向上による倒伏軽減に努める。(直播では低次分けつが発生しやすいため、分けつ過多に注意する)</li> <li>幼穂形成期後は間断灌漑を基本とし、出穂前後の10日間程度は湛水管理とする。</li> <li>出穂後30~35日は、ほ場の水を切らさないようにする。</li> </ul> <p><b>○病虫害防除</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>いもち病とカメムシの被害は、周辺ほ場への影響が大きいことから、必ず防除を行うこと。</li> <li>カメムシ対策の畦畔の草刈りは、出穂14日前までに行い、出穂後は行わないこと。</li> </ul>						<p><b>○収穫</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>移植栽培よりも1週間ほど収穫時期が遅れるため、出穂後日数や黄化率から適期収穫を判断すること。</li> </ul> <p><b>☆施肥体系</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>窒素施肥量の目安 基肥3~4kg/10a + 穂肥1~2kg/10a</li> <li>穂肥は出穂15日前に行い、草丈が長く葉色の濃いほ場では穂肥量を減らす。</li> <li>肥効調節型肥料(一発肥料)を使用する場合は1~2割程度減肥する。</li> </ol> <p><b>☆生育目標</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>時期</th> <th>項目</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">苗立ち期</td> <td>苗立ち数(本/m<sup>2</sup>)</td> <td>60~100</td> </tr> <tr> <td>草丈(cm)</td> <td>70cm程度</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">幼穂形成期</td> <td>茎数(本/m<sup>2</sup>)</td> <td>580~620</td> </tr> <tr> <td>葉色(SPAD502値)</td> <td>35以上</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成熟期・収穫期</td> <td>収量(kg/10a)</td> <td>540以上</td> </tr> <tr> <td>穂数(本/m<sup>2</sup>) もみ数(万粒/m<sup>2</sup>)</td> <td>400~450 2.8~3.2</td> </tr> </tbody> </table> <p>(参考資料) ・稲作指導指針(H30)</p>									時期	項目	目標値	苗立ち期	苗立ち数(本/m <sup>2</sup> )	60~100	草丈(cm)	70cm程度	幼穂形成期	茎数(本/m <sup>2</sup> )	580~620	葉色(SPAD502値)	35以上	成熟期・収穫期	収量(kg/10a)	540以上	穂数(本/m <sup>2</sup> ) もみ数(万粒/m <sup>2</sup> )	400~450 2.8~3.2
時期	項目	目標値																																					
苗立ち期	苗立ち数(本/m <sup>2</sup> )	60~100																																					
	草丈(cm)	70cm程度																																					
幼穂形成期	茎数(本/m <sup>2</sup> )	580~620																																					
	葉色(SPAD502値)	35以上																																					
成熟期・収穫期	収量(kg/10a)	540以上																																					
	穂数(本/m <sup>2</sup> ) もみ数(万粒/m <sup>2</sup> )	400~450 2.8~3.2																																					